

映画の復元と 保存に関する ワークショップ 2019 IN KYOTO

Film Restoration and Preservation
Workshop 2019 in Kyoto

2006年に大阪で始まったこのワークショップは、映画をはじめとする動的映像の復元と保存に関する最新情報や今後の課題について共に考え、参加者同士のネットワークを広げ、次世代に活躍する人材を育成することを目的としています。2016年、2017年の東京開催を経て、2018年は京都にて開催、各企業、団体、専門施設における最新の状況などをご紹介します。

今年は京都府京都文化博物館を復元映画上映会場とし、京都経済センターをメイン会場に開催します。かけがえない文化遺産である映画・映像を次世代に継承し、未来の映画・映像文化をより豊かなものにするために、企業、学芸員、研究者、学生、映画ファンなど映画・映像の復元や保存に関心を持つ方々のご参加を心よりお待ちしております。

2019年11月
15日(金) / 16日(土) / 17日(日)

会場：

[1日目 復元映画上映]

京都府京都文化博物館

京都市中京区高倉通三条上ル東片町 623-1

京都市営地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」5番出口から徒歩3分

[2日目 実習・見学]

(1) 京都経済センター

京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町 78

京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」北改札すぐ、

阪急電車京都線「烏丸駅」26番出口直結

(2) 株式会社松竹撮影所、
東映株式会社京都撮影所とその周辺

集合場所：京福電鉄 嵐山本線・北野線「帷子ノ辻駅」

[3日目 講義]

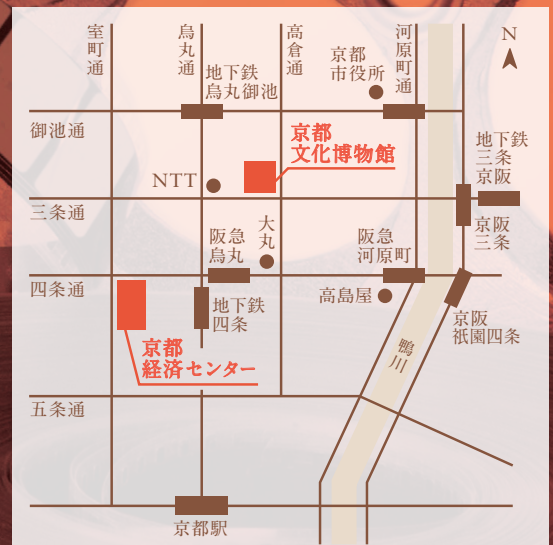
京都経済センター

京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町 78

受講料：全日程 一般 9,000円 / 学生 4,500円

一日券 一般 3,500円 / 学生 1,750円

定員：復元映画上映 150名 / 実習・見学 166名 / 講義 170名



主催：
「映画の復元と保存に関するワークショップ 2019 IN KYOTO」実行委員会

主催メンバー：
京都府京都文化博物館、一般社団法人日本映画テレビ技術協会京都支部

協賛：
株式会社足柄製作所、株式会社 IMAGICA Lab.、NPO 法人映画保存協会、
共進倉庫株式会社、株式会社資料保存器材、株式会社東京光音

協力：
京都府、株式会社アルプスビクターズ、一般社団法人神戸映画保存ネットワーク、
コダック合同会社、株式会社松竹撮影所、株式会社東京現像所、
株式会社ツクリエ、東映株式会社京都撮影所、東映ラボ・テック株式会社、
日本映像アーキビストの会(仮称)呼びかけ人会、プラネット映画資料図書館、
株式会社吉岡映像

事務局：
株式会社 IMAGICA Lab. 内「映画の復元と保存に関するワークショップ
2019 IN KYOTO」実行委員会事務局